

船場地区HOPEゾーン事業  
まちなみガイドライン

# 船場の まちなみ作法

## 基本編

近世・近代の佇まいが光る  
花<sup>はん</sup>なりしたまちなみづくり  
上質な船場の‘いま’<sup>たの</sup>を愉しむために



船場地区HOPEゾーン協議会

## はじめに

### 船場のまちは…



▶ 歴史的なまちでありながら、大阪の都心として経済的な発展を遂げてきた船場には、様々な時代・様式・用途の建物が共存しています。

特に、大正～昭和初期に西洋の様式を取り入れて建てられた、いわゆる近代建築は、まちの発展にあわせて、その多くが姿を消してしまいましたが、オーナーをはじめ、建物を愛する人たちの熱意と努力により、日々変化する船場のまちなみの中で変わらぬ存在感を保ち続け、今では船場を代表する要素となっています。そのほかにも、静かに個性的な光を放つ建物やまちなみの印象をやわらかなものとする昔ながらの佇まいの建物など、隠れた逸材も多く存在しています。



▶ 大阪の都心にふさわしい、高密度な土地利用がなされています。しかし、そうした中でも魅力的な場所になり得る、ちょっとした「すきま」が案外たくさんあります。

公道を拡幅せずに、高い建物が建てられるよう定められた船場建築線によって生み出された空間や、太閤さんの時代につくられた背割り下水の上の路地空間、川と建物間のスペースや大規模な建物の周りに計画的に設けられる公開空地など、小さいものから大きなものまで、様々な「すきま」があるのです。

### そして…

船場地区HOPEゾーン協議会は、それぞれ立場が違って、船場に関わる人・企業・団体と一緒にまちづくりを進めていくため、数多くのツールの中から「まちなみづくり」ということに焦点を絞ることにしました。大阪市のHOPEゾーン事業を活用し、地域と市が連携・協働して船場のまちなみづくりに取り組むための窓口となる組織として活動していきます。

### そこで…

協議会では、船場のまちに関わるみなさんのご協力を得て、こうした船場のまちなみづくりを考える上でのゆるやかな指針として、この『船場のまちなみ作法～基本編～』をとりまとめました。この『作法～基本編～』は、船場の「まちなみづくりのテーマ」と、その実現に向けた「まちなみづくりの基本方針」で構成されています。さらに、ここに定める「基本方針」に基づく具体的な内容は、『作法～各編～』へと続いていきます。



▶ 太閤秀吉の時代に整備が始まり、徳川の時代に引き継がれて形づくられた東西南北40間(約80m)の正方形の町割や間口5～6間、奥行き20間の敷地割を今も基盤としています。

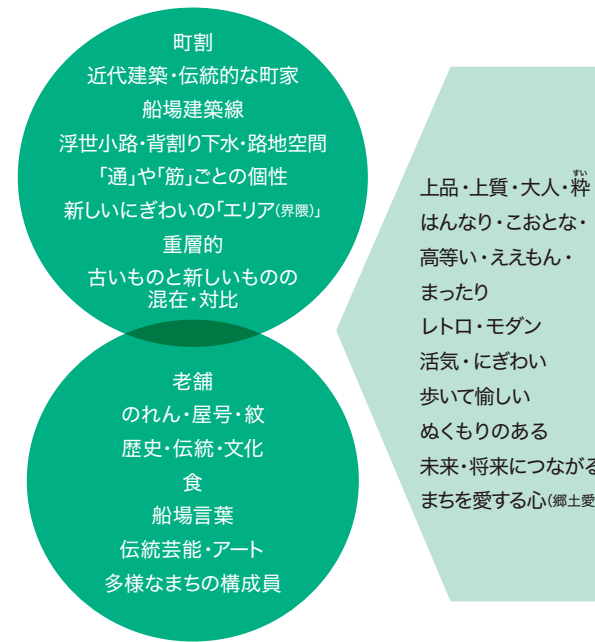
この整然とした町割を形づくるのは、大坂城に続く東西方向の「通(とおり)」と、南北方向の「筋(すじ)」であり、それらを軸として特徴あるまち、まちなみがつくられていると言えます。東西に長く延びる「通」を挟んで出来ていった薬の道修町、金融の北浜、繊維の本町などの特徴あるまちは、今も町名やまちの雰囲気などからその深い歴史を感じることができます。近代に拡幅が進んだ御堂筋や堺筋、三休橋筋などの南北の「筋」には、近代的な建物、新しい時代に応じた機能の建物が建ち並び、現在では、風格と趣きのあるまちなみがつくられています。また最近では、「通」や「筋」だけではなく、「エリア(界隈)」としてのまちづくりの動きも見られるようになってきています。



▶ 昔からの住人だけでなく、新しい住人や働く人、お店を営む人、遊びに来る人、まちづくりの活動をする人など多くの人たちが支えています。もちろん、船場のブランドイメージを支える「老舗」や数々の「企業」もとても大切なまちの一員です。

## まちなみづくりのテーマ

船場のまちなみづくりを進めていく上で、大事にしたい事柄やキーワードについて、船場に関わる多くの方々声を聞きながら、主なものを整理してみると、次のようになりました。



こうしたことを踏まえ、協議会では、船場の「まちなみづくりのテーマ」を

はん 近世、近代の佇まいが光る  
**花なりしたまちなみづくり**  
上質な船場の「いま」を愉しむために

とまとめました。

### 「花なり」とは

▶ 落ち着いたはなやかさ、上品でやわらかなはなやかさを表す言葉です。

このテーマには、町割や魅力的な建物といった形ある資源だけでなく、船場の歴史・成り立ち、船場言葉や食文化、老舗の格式、人々の暮らしなど、近世・近代に培われ、受け継がれてきた、船場のまち特有の雰囲気、ありさま、風情といった財産を巧みに光らせ、一味違う、質の高いまちなみづくりを、「花なり」という言葉を意識しながら進めることにより、過去と現在、そして未来が仲良く共存する楽しい「いま」を感じさせるまち・船場を実現していきたいという思いが込められています。

## まちなみづくりの基本方針 — 4つの視点 —

「テーマ」の実現に向け、次の4つの視点に立ったまちなみづくりを提案します。

### 1 | 近代建築等のストックを活かす

船場のまちなみをより重層的で、上質なものとするためには、近代建築をはじめ、人々に愛され、まちなみのアクセントとなる大切なストックである様々な建物たちを活かすことを考える必要があります。建物を所有する人たちだけでなく、建物に関わる人々、船場のまちに関わる人々がみんなで建物の価値やまちなみに与える効果を十分に理解・共有することが大切です。個々の建物に一層の磨きをかけると同時に、まちなみづくりの核として活用すること等を進めましょう。

### 2 | 通・筋、エリア(界隈)の個性を活かす

この広い船場では、「通」や「筋」沿いにつくられたまちの成り立ちや特性、「エリア(界隈)」としてのまちづくりの動きなどを上手に活かしながら、新しい要素を取り入れ、「いま」の船場にふさわしい個性的なまちなみをつくっていくことが大切です。「通」や「筋」、「エリア(界隈)」ごとに、まちなみの将来像を話し、必要なルールをつくりながら、具体的なまちなみづくりを進めましょう。

### 3 | まちの「すきま」を使いこなす

都心・船場の貴重な空間である「すきま」は、まちのゆとりや遊び心を生み出す非常に大事な空間です。「すきま」のデザインや使い方の工夫で、まちなみの一体感や潤いが生まれるとともに、まちに関わるたくさんの人たちの憩いの場、集いの場、にぎわいの場など、まちづくりを進めるうえで要(かなめ)となる空間が生み出されることにもつながります。「すきま」を上手に使いこなす、より楽しいまちなみづくりを進めましょう。

### 4 | まちを「愉しむ」

多種多様な人々だけでなく、企業や団体などもまちの一員である船場では、わかりやすいまちづくり活動を展開し、一人でも多くの人たちを巻き込んでいく必要があります。協議会は、そうした観点から、「まちなみ」というわかりやすい切り口で、多くの方々と一緒に楽しみながら船場のまちづくりを考えていきたいと思っています。みなさんも船場のまちの一員として、まちに関わり、その魅力を知り、守り、伝え、「いま」の船場、未来の船場と一緒に楽しくていきましょう。

▶ これら4つの視点に立ち、建物の修景やまちの特性を活かすルールづくりなどに取り組み、具体的なまちなみづくりを進めていきましょう。

# 船場地区HOPEゾーン協議会

## 発足

平成20(2008)年8月6日

## 目的

大阪市HOPEゾーン事業を活用し、行政等と連携・協働で、近代建築などの船場地区の文化的・歴史的な資産を活かした、より魅力的なまちなみづくりを進めること

## 活動内容

- ・まちなみ形成のルールづくりに関すること
- ・まちなみ形成に係る広報・啓発に関すること
- ・まちなみ形成に係る調査・研究に関すること
- ・まちなみ形成に係る情報交換・交流に関すること
- ・その他目的達成に必要な事業

## 主な役員等

会長	大橋 達夫	集英連合振興町会 会長
副会長	木下 修二	愛日連合振興町会 会長
	橋本 英男	船場連合振興町会 会長
事務局長	別所 俊顕	少彦名神社 宮司、道修町資料保存会理事
会計	村橋 紗知	伏見ビル、ギャラリーもず
理事	増山 達夫	堺筋アメニティ・ソサエティ事務局
	小西 哲夫	コニシ(株)取締役
	澤田 充	北船場くらぶ事務局
	宿谷 良一	(株)ヤラクス館 専務取締役
	日比 哲夫	船場げんきの会 副代表世話人
	藤原 久恵	汎愛連合振興町会 総務部長
	守田 宣昭	三休橋筋商業協同組合
	吉岡 亨	大阪ガス(株) 近畿圏部長
相談役	西尾 午郎	汎愛連合振興町会 会長
	野村 正朗	堺筋アメニティ・ソサエティ代表幹事
	和田 亮介	三休橋筋商業協同組合代表理事
会員	現在約80名	

『船場のまちなみ作法』や船場でのまちなみづくり、船場地区HOPEゾーン協議会の活動に関わるお問合せ、ご相談等は  
お近くの協議会役員まで。

## 大阪市の「HOPEゾーン事業(船場地区)」についてのお問合せは

大阪市都市整備局  
企画部まちづくり事業企画担当 まで  
電話 06-6208-9222  
大阪市北区中之島1-3-20 大阪市役所6階

## HOPEゾーン事業

大阪のイメージ・魅力を高める歴史的・文化的な雰囲気恵まれた地域において、地域で活躍する様々なメンバーから成る「協議会」を中心に、地域と行政が連携・協働してまちなみづくりに関する活動を展開しながら、地域特性を活かした建物やオープンスペースの修景整備等、具体的なまちなみづくりに取り組んでいく事業。

平成21年8月発行

発行者 船場地区HOPEゾーン協議会

企画・編集 船場地区HOPEゾーン協議会・大阪市都市整備局